

活 用 事 例	上越教育大学附属小学校	水谷徹平教諭
活用事例タイトル	社会性と道徳的心情を育む SNS 活用 ～マゴコロブログでかかわろう～	
対象授業科目/活動	道徳・特別活動	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICT の使用局面など)	<p>1. 目的 日常的なソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下 SNS）の活用から、社会性と道徳的心情を高める</p> <p>2. 実施時期 平成 25 年度（通年）</p> <p>3. 対 象 6 年生児童（39 名）</p> <p>4. ICT 使用の局面 学習活動や学校生活の振り返りを学級で交流する。話し合いとタブレット PC を活用した SNS でのかわり併用することで、社会的な立場と個人としての立場を行き来したコミュニケーションを期待できる。総合的な教育活動で目指すエネルギー問題に向き合う活動や学校行事への取組といった共通の問題解決を目指し、意見を交流させる中で、存在を認められながらコミュニケーションの体験を積む。年間を通じ、話し合いと SNS 活用を行っていく。教室に常設したノート PC やタブレット PC、家庭でのネットワーク端末の活用を常時行い、コミュニケーションの体験を積んでいく。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	バーチャルとリアルを行き来することで、社会性や道徳的心情を育むとともに情報活用の実践力、情報化の影に対応する判断力を実体験から高める。	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達からいいねやコメントをもらえて、クラスにいないときでもネットを通じてやりとりできるのがうれしい。</li> <li>・顔を合わせていると言いつらいことを素直に言えたり、逆に大事なことは顔を見て伝えるほうがいいことがあると感じた。</li> <li>・学級で話し合った「なりすまし問題」で、コンピュータの向こう側には人がいることや、ネットを利用する中で被害にあわないためにパスワードや個人情報などを大切にしていくな必要を実感した。</li> <li>・言葉遣いや言い方を考えないと、相手に気持ちが伝わらずに誤解があったり、ついコメントが気になって時間を忘れてたりということから、ネットをどう使っていくといいかを考えることができた。</li> </ul>	
その他 (関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。)	<a href="http://sns.prtls.jp/index.html">http://sns.prtls.jp/index.html</a> 【SNS サイトピープル】	